

問題 1.

三角形 ABC において、面積が 1 で AB = 2 であるとき、

$$BC^2 + (2\sqrt{3} - 1)AC^2$$

の値を最小にするような  $\angle BAC$  の大きさを求めよ。

解答

$\triangle ABC$  の面積 = 1、 $AB=2$  より

$$CD=1$$

$\triangle ADC$  は直角三角形より、三平方の定理

$$x^2 + CD^2 = CA^2$$

$$CA^2 = x^2 + 1 \quad \dots$$

$\triangle ABC$  に余弦定理を適用して、

$$BC^2 = AB^2 + CA^2 - 2AB \times CA \times \cos A$$

$$BC^2 = 4 + CA^2 - 4CA \times \cos A$$

$$CA \times \cos A = x \quad \dots$$

$$\therefore BC^2 = 4 + CA^2 - 4x$$

、 を  $BC^2 + (2\sqrt{3} - 1)AC^2$  へ代入すると、

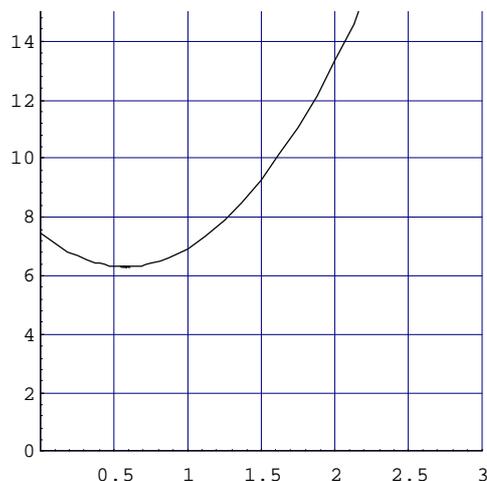
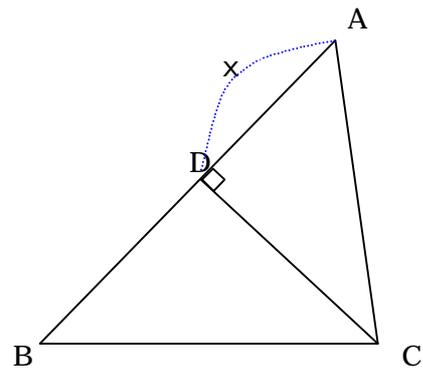
$$BC^2 + (2\sqrt{3} - 1)AC^2 = 4 + CA^2 - 4x + (2\sqrt{3} - 1)(x^2 + 1)$$

$$= 4 + x^2 + 1 - 4x + (2\sqrt{3} - 1)(x^2 + 1)$$

$$= 2\sqrt{3}x^2 - 4x + 2\sqrt{3} + 4 = 2\sqrt{3}\left(x - \frac{1}{\sqrt{3}}\right)^2 - \frac{4\sqrt{3}}{3} + 4$$

$x = \frac{1}{\sqrt{3}}$  の時、最小となる。  $\tan A = \frac{1}{x} = \sqrt{3}$  つまり

$$A = \frac{\pi}{3}$$



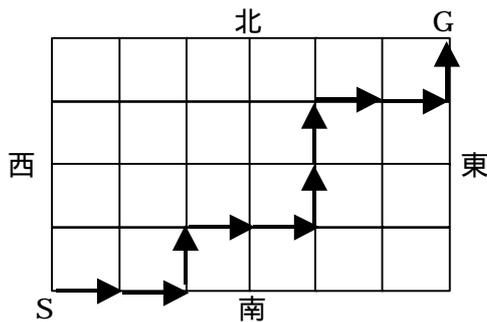
問題 2.

図のような碁盤の目状の道路がある。S 地点を出発して、道路上を東または北に進んで G 地点に到達する経路を考える。(図 1 の太線はそのような経路の一例である。)

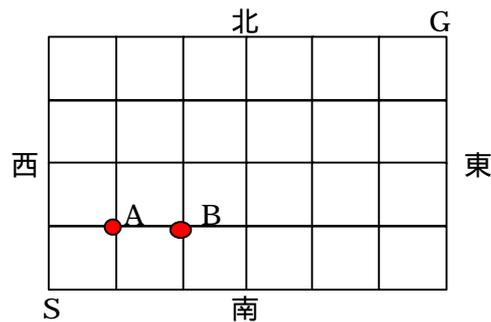
(1) S 地点から G 地点に至る経路は何通りあるか。

(2) S 地点から G 地点に至る経路のうち、図 2 の A 地点と B 地点をともに通る経路は何通りあるか。

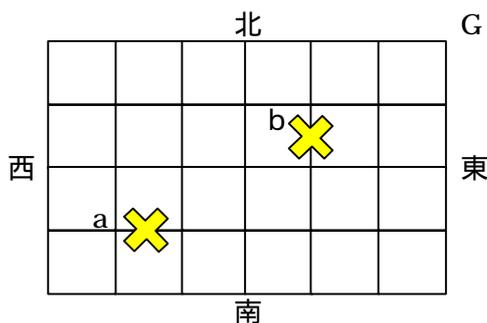
(3) 図 3 の a、b の 2 か所が通行止めの時、S 地点から G 地点に至る経路は何通りあるか。



(図 1)



(図 2)



(図 3)

解答

(1) 典型的な道のりの数の問題。  ${}_{10}C_4 = 210$

(2) ( ) S → A について  ${}_2C_1 = 2$  ( ) B → G について  ${}_7C_3 = 35$

積の法則より  $2 \times 35 = 70$

(3) ( ) a を通過するとき  
 ${}_2C_1 \times {}_7C_3 = 2 \times 35 = 70$

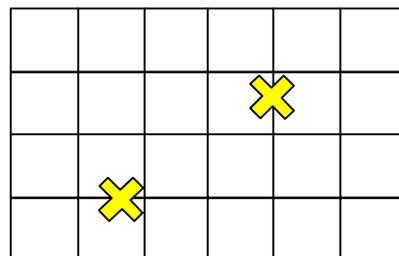
( ) b を通過するとき  
 ${}_6C_2 \times {}_3C_1 = 15 \times 3 = 45$

( ) a と b の両方を通過するとき  
 ${}_2C_1 \times {}_3C_1 \times {}_3C_1 = 18$

a 又は b を通過する方法は

$$70 + 45 - 18 = 97$$

$$210 - 97 = 113$$



問題 3.

x y 平面上の 2 直線  $L_1, L_2$  を

$$L_1: y = 0$$

$$L_2: y = \sqrt{3}x$$

で定める。P を x y 平面上の点とする。直線  $L_1$  に関して P と対称な点を Q、直線  $L_2$  に関して P と対称な点を R とする。このとき、次の問いに答えよ。

(1) P の座標を  $(a, b)$  とするとき、R の座標を  $a, b$  を用いて表せ。

(2) 2 点 Q, R の距離が 2 になるような P の軌跡 C を求めよ。

(3) 点 P が C 上を動くとき、三角形 PQR の面積の最大値とそれを与える P の座標を求めよ。

解答

(1)  $R(X, Y)$  とおく。

PR の中点  $M\left(\frac{a+X}{2}, \frac{b+Y}{2}\right)$  が直線  $L_2: y = \sqrt{3}x$  上に存在する。

$$\frac{b+Y}{2} = \sqrt{3} \frac{a+X}{2} \dots$$

$$b+Y = \sqrt{3}(a+X)$$

$$\text{PR の傾き} = \frac{b-Y}{a-X}$$

$L_2$  と PR は垂直より

$$\frac{b-Y}{a-X} \times \sqrt{3} = -1$$

$$X = a + \sqrt{3}(b-Y) \dots$$

$$\text{を } \wedge \text{ 代入して } Y = \frac{\sqrt{3}a+b}{2}$$

$$\text{より、 } X = \frac{-a + \sqrt{3}b}{2}$$

$$\therefore R\left(\frac{-a + \sqrt{3}b}{2}, \frac{\sqrt{3}a+b}{2}\right)$$

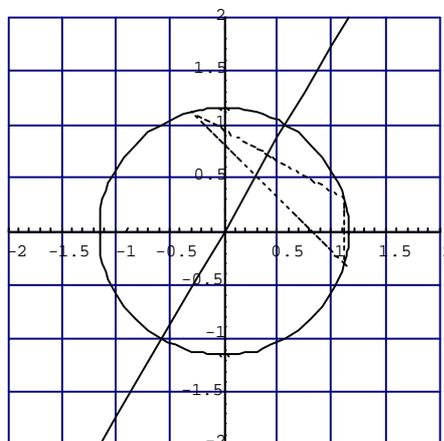
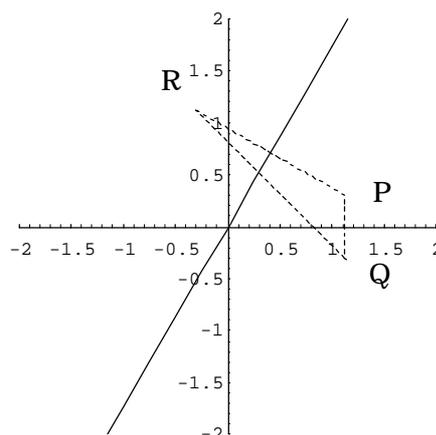
(2)  $R(X, Y)$  Q  $(a, -b)$  とおける。

$$(1) \text{ より } X = \frac{-a + \sqrt{3}b}{2} \quad Y = \frac{\sqrt{3}a+b}{2} \dots$$

$RQ = 2$  より距離公式を適用

$$(X-a)^2 + (Y+b)^2 = 4 \quad \wedge \text{ を代入して}$$

$$a^2 + b^2 = \frac{4}{3}$$



問題 4 .

$f(x)$  を周期 1 の周期関数とする。すなわち、 $f(x+1)=f(x)$  ( $-\infty < x < \infty$ ) とする。

$a$  を実数とし、 $p = \int_0^1 e^{ax} f(x) dx$  とするとき。次の問いに答えよ。

(1)  $n$  を自然数とするととき、 $\int_n^{n+1} e^{ax} f(x) dx$  を  $p$  を用いて表せ。

(2)  $n$  を自然数とするととき  $\int_0^n e^{ax} f(x) dx$  を  $p$  を用いて表せ。

(3) 周期 1 の周期関数  $f(x)$  が  $0 \leq x \leq 1$  の範囲で

$$f(x) = -\left|x - \frac{1}{2}\right| + \frac{3}{2} \quad \text{であるとき、} \lim_{n \rightarrow \infty} \int_0^n e^{-x} f(x) dx \text{ を求めよ。}$$

解答

(1) 置換積分を利用する。 $\int_n^{n+1} e^{ax} f(x) dx$  について、 $t = x - n$  とおくと、 $\frac{dt}{dx} = 1$

$x$	$n \rightarrow n+1$
$t$	$0 \rightarrow 1$

$$\int_n^{n+1} e^{ax} f(x) dx = \int_0^1 e^{a(t+n)} f(t+n) \frac{dx}{dt} dt = e^{an} \int_0^1 e^{at} f(t) dt = p e^{an}$$

$$(2) \int_0^n e^{ax} f(x) dx = \sum_{k=0}^{n-1} \int_k^{k+1} e^{ax} f(x) dx = \sum_{k=0}^{n-1} p e^{ak} = p \frac{1 - e^{an}}{1 - e^a} \quad (a \neq 0)$$

$$a = 0 \text{ の時 } \int_0^n e^0 f(x) dx = \sum_{k=0}^{n-1} \int_k^{k+1} f(x) dx = np$$

$$(3) f(x) = -\left|x - \frac{1}{2}\right| + \frac{3}{2} \quad (0 \leq x \leq 1) \quad \text{より}$$

$$\left( \right) \frac{1}{2} \leq x \leq 1 \text{ の時 } \quad f(x) = -x + 2$$

$$\left( \right) 0 \leq x \leq \frac{1}{2} \text{ の時 } \quad f(x) = x + 1$$

$a = -1$  として (2) を利用する。

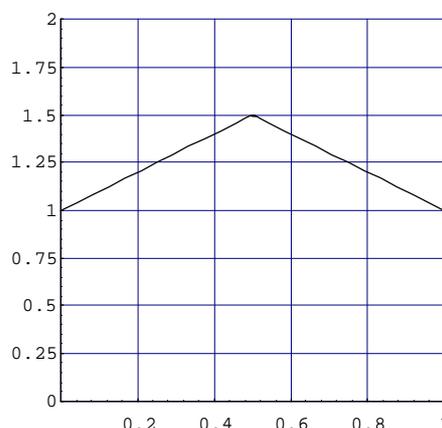
$$\lim_{n \rightarrow \infty} \int_0^n e^{-x} f(x) dx = \lim_{n \rightarrow \infty} \frac{e^{-n} - 1}{e^{-1} - 1} \times p = \frac{p}{1 - e^{-1}} \dots (*)$$

$p$  を求めると良い。

$$p = \int_0^1 e^{-x} f(x) dx = \int_0^{\frac{1}{2}} e^{-x} (x+1) dx + \int_{\frac{1}{2}}^1 e^{-x} (-x+2) dx = \left[ -e^{-x} (x+1) - e^{-x} \right]_0^{\frac{1}{2}} - \left[ -e^{-x} (x-2) - e^{-x} \right]_{\frac{1}{2}}^1$$

$$= 2 - 2e^{-\frac{1}{2}}$$

$$(*) \text{ へ代入して } \lim_{n \rightarrow \infty} \int_0^n e^{-x} f(x) dx = \frac{2 \left( 1 - e^{-\frac{1}{2}} \right)}{1 - e^{-1}} = \frac{2\sqrt{e}}{1 + \sqrt{e}}$$



問題 5

関数  $f(x) = \frac{1}{1+e^{-px}} - ax$  が極値をもつように、定数  $a$  の値の範囲を定めよ。ただし、 $p$  は正の定数で、 $e$  は自然対数の底である。

解答

$$f(x) = \frac{1}{1+e^{-px}} - ax$$

$$f'(x) = \frac{pe^{-px}}{(1+e^{-px})^2} - a$$

極値を持つためには、 $f'(x) = 0$  なる  $x$  で  $f'(x)$  が符号変化をしなければいけない。

$$\frac{pe^{-px}}{(1+e^{-px})^2} - a = 0 \quad \text{の時} \quad X = e^{-px} \text{ とおくと、} X > 0$$

$$\frac{pX}{(1+X)^2} - a = 0 \quad \text{分母を払って整理すると、}$$

$$aX^2 + (2a-p)X + a = 0 \quad (X > 0) \dots$$

少なくとも 1 つは正の実数解を持てば良い。

ただし重複解を除く。

( )  $a = 0$  の時

$$-pX = 0 \quad p > 0 \quad \text{より} \quad X = 0$$

となり不適。

( )  $a \neq 0$  の時

$$D = (2a-p)^2 - 4a^2 > 0$$

$$p^2 - 4ap > 0$$

判別式  $4ap < p^2$

$$p > 0$$

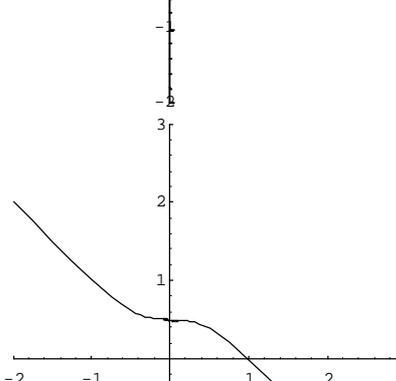
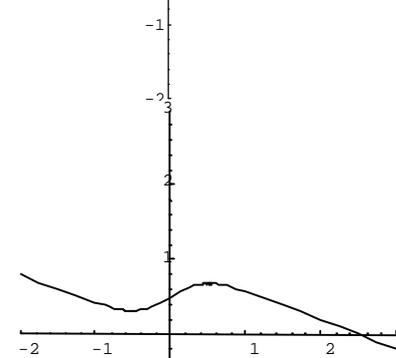
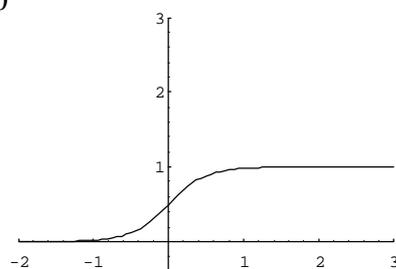
$$a < \frac{p}{4}$$

2 解を  $a, b$  とすると、解と係数の関係より

$$a \times b = 1, a + b = \frac{p}{a} - 2 > 0 \quad \text{となれば良い。}$$

$$0 < a < \frac{p}{2}$$

$$\text{これらより、} 0 < a < \frac{p}{4}$$



P の軌跡は  $x^2 + y^2 = \frac{4}{3}$

(3)

$PQ = |2b|$

直線 PQ と点 R との距離 =  $\left| a - \frac{-a + \sqrt{3}b}{2} \right| = \left| \frac{3a - \sqrt{3}b}{2} \right|$

$\Delta PQR$  の面積を  $S$  とおくと、

$S = \frac{1}{2} |2b| \times \left| \frac{3a - \sqrt{3}b}{2} \right| = \frac{\sqrt{3}}{2} |\sqrt{3}ab - b^2| \dots$

$P(a, b)$  は  $a^2 + b^2 = \frac{4}{3}$  を満たすので、

$a = \frac{2}{\sqrt{3}} \cos q, b = \frac{2}{\sqrt{3}} \sin q$  を へ代入

$S = \frac{\sqrt{3}}{2} \left| \frac{4\sqrt{3}}{3} \cos q \times \sin q - \frac{4}{3} \sin^2 q \right|$

$= \frac{\sqrt{3}}{3} |\sqrt{3} \sin 2q - 1 + \cos 2q|$

$= \frac{\sqrt{3}}{3} \left| 2 \sin \left( 2q + \frac{p}{6} \right) - 1 \right| \leq \sqrt{3}$

$2q + \frac{p}{6} = \frac{3p}{2}, \frac{7p}{2}$  の時、 $q = \frac{2p}{3}, \frac{5p}{3}$  の時面積  $S$  は最大

$P\left(-\frac{1}{\sqrt{3}}, 1\right), \left(\frac{1}{\sqrt{3}}, -1\right)$

